

コロナ禍のまちづくり

市長 明智忠直



いつまで続くのであろう新型コロナウイルス。7月には東京都で連日200人を超す感染者が確認され、

全国でも首都圏、大阪圏は第2波とも思える状況が続いております。旭市では4月16日以降感染者は確認されておりましたが、徐々に都市部から波及し始めており、大変不安な毎日をご過ごしております。現在市では第2波への備えとして、PCR検査の加速化、そしてマスク、消毒液、検温器や防護服の確保、避難所の対応などさまざまな準備を進めているところであります。

市の将来を考えたとき、感染拡大防止と経済活動の両立は必須なことだと思えます。これまでのまちづくりの基本は、各種イベントや祭り、観光、農業をはじめとする生産物の全国展開など、市の知名度アップと交流に主眼を置いて進めてきました。いわば旭市に大勢の人に来ていただき、旭を知っていただくことが最大

のポイントでしたが、今はこの手法を抑えるときであります。

今年度中止となりました主なイベントや祭りは、袋公園桜まつり、東部五市体育大会、学校関連行事、YOU・遊フェスティバル、七夕市民まつり、海水浴場、市民プール、砂の彫刻美術展、東総文化会館での催し物、向太陽杯パークゴルフ大会、産業まつり、市民体育祭、市民駅伝大会、そして飯岡しおさいマラソン大会などさまざまな行事が中止を余儀なくされました。これらの行事による市への流入、観光人口は100万人に近いと思えます。

今回の経験から、これからのまちづくりは、今までと違った角度から進めなければならないと考えております。安全安心なインフラ整備、災害に強いまちづくり、総合戦略にうたう旭市国土強靱化地域計画、防災計画等々を再検討、再点検する時期と思う今であります。



市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／11日(火)、20日(木)、毎週月曜日

岡市図書館 ☎62-2560 <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「囚われの山」



伊東潤 著
(中央公論新社)

未曾有の大惨事となった八甲田山雪中行軍遭難事件。120年前のその事件を取材する菅原は、真相解明の鍵を握る兵士の存在を知る。

「家族じまい」



桜木紫乃 著
(集英社)

母の認知症をきっかけに親の老いに直面し戸惑う姉妹。深く関わることを避けてきた家族に向き合った時、湧き出てきた感情は……。

新着図書

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| ●ならずもの (森功) | ●不良 (北野武) |
| ●言語道断 (櫻井よしこ) | ●任侠シネマ (今野敏) |
| ●身のまわりのものでできる手作りマスク (寺西恵里子) | ●星に仄めかされて (多和田葉子) |
| ●素敵に彩る小さな庭づくり (E & Gアカデミー) | ●水を縫う (寺地はるな) |
| ●派遣添乗員ヘトヘト日記 (梅村達) | ●ダブル・トライ (堂場瞬一) |
| ●薬物依存症 (清原和博) | ●あしたの華姫 (畠中恵) |
| ●事件持ち (伊兼源太郎) | ●またね家族 (松居大悟) |
| ●邦人奪還 (伊藤祐靖) | ●きたきた捕物帖 (宮部みゆき) |
| ●芥川賞候補傑作選 戦前・戦中編 (鵜飼哲夫) | ●虫とゴリラ (養老孟司・山極寿一) |
| ●食っちゃ寝て書いて (小野寺史宜) | ●サガレン (梯久美子) |
| ●漣のゆくえ (梶よう子) | ●アンドロメダ病原体一変異 (マイクル・クライトン) |
| | ●総武本線、成田線、鹿島線 街と鉄道の歴史探訪 (山田亮) |

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／8月13日(木)、27日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館2階第2会議室